



年間約18万人の利用者が訪れるハートピア安八。全国4位という高い利用率です

質  
QUESTION

ハートピア安八の利用増加の施策は？

回  
ANSWER

利用増加を目指すのではなく、サービスの向上を模索します

〔町長〕

質  
QUESTION

ハートピア安八は平成15年3月に開館されていますが、平成22年度決算においては総予算1億700万円となっていて、支出内訳は人件費が5千万円を超え、その他が委託料・備品購入等です。一方、施設利用料はほとんどなく、一般会計で補う実態となっています。すなわち、

1割の削減が図られる予定です。

そこで2点について、質問します。

- ① ハートピア安八という近隣にない文化・教養施設の利用者、今後いかように増加させる方策を持っていますか。
- ② 他の自治体が実施している管理委託制度の導入を検討される考えがありますか。

# 一般質問



大平 文雄  
おおひら ふみお

行政の足かせとなっています。また、施設の利用者は年間延べ17万8393人という実績です。

佐賀県武雄市では、年間1億4500万円で運営する図書館を民間委託する契約を結びました。その結果、開館時間の延長・年中無休、また閲覧図書も8万冊から20万冊に増えました。コスト面では

回  
ANSWER

ハートピア安八の利用者数増加施策については、図書の貸出冊数は21万8千冊で、人口規模2万人以下の町村では全国4位であります。

天文台は県内11施設中1位、歴史民俗資料館は西濃11施設中4位です。

このような実績を踏まえ、現在は単に利用者数の増加を目標にするのではなく、より質の高いサービスの提供を模索する時期にあると思います。そして、そのサービスの向上が新たな魅力を生み、利用者の増加をもたらすものと思っています。

指定管理制度の導入については、全国の図書館・博物館・科学館・歴史博物館・美術館などでは未だ純粋な民間企業による運営は少ないのが現状で、民間のノウハウ導入の効果は評価しにくいと言えます。また、ハートピア安八の内

外に誇れる実績を考えれば、指定管理制度に過度に期待できないものと思われま

よって特筆すべき利用実績のある現状では、指定管理制度の導入を検討する時期ではないと考えています。